

令和6年度 学校関係者評価について

令和7年2月13日
学)緑が丘学園 京王幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・心もからだも健康でたくましい子ども
- ・好奇心、探究心を持って遊びを創る子ども
- ・豊かな心で表現を楽しむ子ども
- ・ともだちと仲良くあそぶ子ども
- ・友だちと会話を楽しむ子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

子ども達にとって安心できる場所づくりを考える
～子ども達が自己発揮しながら園生活を過ごすために～

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育課程の理解と子どものみとり	A	園内研修を通して園の教育目標、0歳児から5歳児までの成長のつながりを確認した。個々の育ちとクラスの育ちに着目し保育を進めた。計画を立てる際は今の子どもの姿を大切に、成長と課題を見て作成した。
2	安心安全な環境づくり 保育室・ホール・園庭…	B	保育室の中に不要なもの、危険物等はないか整理整頓を行う。限られた空間の中で子ども達が、思い切り安心してあそびが展開できるよう、玩具や制作素材について工夫した。園庭やホールなど全園児が利用する場所に関しては、他学年の保育者と活動時間を調整しながら有効的に活用した。
3	安心安全な環境づくり（人） 保育者・職員などの関わり方	B	どの場面においても、子ども達の生活のためには保育者間の連携が必要と認識し、情報の共有を大切に。不適切保育とならないよう、会議等でまた日々の保育の中から話題にし、情報共有を行った。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理 由
B	各項目について、職員の理解は深まったと感じる。保育計画と子どもの姿の関連性、その重要性を再認識できた。ただし、保育者間の情報共有について、よくできていると思われる面もあるが、共有の難しさを感じる保育者も少なくなかった。限られた時間の中で、担任と補助（フリー）保育者が共有できる方法をこれからも探る必要がある。環境面については各保育者が創意工夫しながら取り組んだ。保育者間の情報共有と連携は不可欠である。より良い連携を目指し考えていく必要がある。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	安心安全な環境づくり②	引き続き保育室や園庭など、子ども達の生活やあそびに適した保育環境について話し合う。園から家庭への発信について考える。
2	保育者間の連携	連携のための効果的な時間の取り方・内容・伝え方について話し合う。
3	安全管理	緊急事態に備えて、園の危機管理マニュアルを共通理解し、意識向上と改善につなげる。

6. 学校関係者評価委員会の評価

今年度の総括

子ども達の自主性を大切にしながら、安全に過ごすということは難しく大変な事であると思うが、そのような中で、それぞれの保育者が子ども達にとって、楽しく遊びや学びにつなげながら保育をしていることを知れた。子ども達の成長や保育について、職員間でたくさん話し合ったり考えたりしており、悩み、葛藤しながらも全体が強い責任感と志を持って保育に当たっていると感じた。委員会で話題に上がったことを、職員に報告し、その後の保育で実践していることは良い。「保育者間の連携」について話し合ったが、園（保育者）と保護者観の連携についても知りたいと思った。